

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年5月17日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年5月17日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【床ならし作業中における重機の油圧パイプ損傷による油漏れについて】 協力企業作業員が、床ならし作業中に仮設材に重機の油圧パイプを接触させ損傷したことで、油漏れが発生。エンジンを止め、オイルポンプを停止したことで油漏れが止まった。 漏れた油については、中和剤散布、および、吸着マットによる拭き取りを実施済み。 また、破損箇所吸着マットを巻き付け養生済み。 今後、油圧パイプを接触させた原因を調査し、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	5月10日
2	<p>【一時保管エリアBにおけるフォークリフトの接触によるコンテナ破損について】 協力企業作業員が、一時保管エリアBに仮置き中の資機材をフォークリフトにて移動させようとしたところ、フォークリフトの爪が資機材奥にあるガレキコンテナに接触し、コンテナに孔が開いたことを確認。 孔の開いたコンテナは可燃物を収納中。 コンテナからの漏えいはなし。 孔はテープで塞ぎ応急措置を実施。 作業エリア周辺の線量、および、汚染濃度に変動なし。 今後、フォークリフトの爪を接触させた原因を調査し、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	5月11日